

Cisco Unified IP Phone エクステンションモビリティ モニタリング脆弱性

Medium	アドバイザーID : Cisco-SA-20071128-CVE-2007-6190	CVE-2007-6190
	初公開日 : 2007-11-28 20:50	
	最終更新日 : 2012-07-14 17:56	
	バージョン 2.0 : Final	
	CVSSスコア : 4.0	
	回避策 : No Workarounds available	
	Cisco バグ ID :	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Unified IP Phone デバイスは機密情報の公開に終って影響を受けたデバイスのまわりで進行中のメッセージ交換で、可能性としては盗聴するために認証される可能にする可能性がある脆弱性がリモート攻撃者含まれています。

エクステンションモビリティ機能の不確かな処理による脆弱性存在。A は影響を受けたデバイスの攻撃者制御位置に連続的なリアルタイム プロトコル (RTP) ストリームを送信するために設定によって認証されて、リモート攻撃者この脆弱性を不正利用する可能性があります。A はこの進行中の伝達 攻撃者が影響を受けたデバイスのまわりで物理的な空間で起こっているメッセージ交換を監視することを可能にする可能性があります。

Cisco はセキュリティ応答のこの脆弱性を確認しました; ただし、更新は利用できません。

To A エクスプロイトはこの脆弱性、攻撃者影響を受けたデバイスに認証を許可して十分であるエクステンションモビリティ信任状を所有する必要があります。A A、組み込み Web サービスと共にエクステンションモビリティ機能がイネーブルの状態デバイスだけ不正侵入に脆弱です。その上に A は、攻撃者ユーザがにログオンされないこと拡張モビリティ イネーブルになった電話しか攻撃なできます。A A 正常なエクスプロイトは攻撃者がデバイスのまわりで起こる進行中のメッセージ交換で盗聴することを可能にする可能性があります。

影響を受けたデバイスが不正利用されるとき、電話は何かはおかしいことを示す視覚サインを表わします。A は不正利用されたデバイス スピーカーフォン ボタンを点滅させ、LCD 表示 will A が

付いているデバイスは引っ掛け示す値を自慢して見せます。A は VOIPネットワークまたは VLAN への攻撃者 requiring A アクセスと共にこれらのファクタ不正侵入の確率を大幅に下げます。

該当製品

Cisco は次のリンクで Security Advisory をリリースしました: [cisco-sr-20071128-phone](#)

脆弱性のある製品

Cisco Unified IP Phone デバイスは脆弱です。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

回避策

管理者は利用可能になると同時に更新を加えるように助言されます。

管理者は音声ネットワークを設定するとき VoIP テレフォニー最良の方法に続くように助言されます。

管理者はすべての VOIPトラフィックのために専用VLAN を利用するように助言されます。

管理者は影響を受けたデバイスのための 802.11x 認証を実施するように助言されます。

管理者は影響を受けたデバイスの Webサーバへのアクセスを制限するのに ACL を利用するために助言されます。

管理者は不正アクセスを防ぐとアクセスレイヤスイッチ ポートのハードな設定 MAC アドレスが考慮するかもしれません。

管理者は影響を受けたデバイスの組み込み Web サービスをディセーブルにすることを考えるかもしれません。

管理者はエクステンションモビリティ機能をディセーブルにすることを考えるかもしれません。

管理者は影響を受けたデバイスのスピーカーフォンおよびヘッドセット機能をディセーブルにすることを考えるかもしれません。

修正済みソフトウェア

アクティブな契約を持つ Cisco カスタマは次のリンクで Software Center を通して更新を入手できます: [Cisco](#)。契約のない Cisco カスタマは 1-800-553-2447 か 1-408-526-7209 でまたは

tac@cisco.com で E メールで Cisco Technical Assistance Center にコンタクトをとってアップグレードを入手できます。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) では、本アドバイザリに記載されている脆弱性のエクスプロイト事例やその公表を確認していません。

出典

URL

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/Cisco-SA-20071128-CVE-2007-6190>

改訂履歴

Version	Description	Section	Status	日付
1.0	初版リリース	該当なし	Final	2007-Nov-28

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。